

2. R7年度 学校評価活動の評価と反省

○評価の尺度

評価は、4（十分達成できている）、3（おおむね達成できている）、2（達成に努力が必要である）、1（達成できていない）の4段階の尺度を用います。

Ⅰ 園経営			
☆共通理解・共同実践		評価	意 見 等
1	教育目標は幼児、こども園、地域の実態、課題に即応している	3.5	○コンセプトブックを軸に、保育理念「心と身体 の自由な暮らし」や心がまえ・基本方針の共有を図った。 ○こども園教育・保育要領のまとめを作成し、年間指導計画の見直しと全職員でのすり合わせを行った。 ○計画書内の記載に整合性の取れていない箇所を見直し、R8年度計画に反映した。
2	教育目標は職員、幼児、保護者に理解されている	3.0	
3	具体的重点実施事項を設定し取り組みを実践している	3.0	
4	教育課程に基づいて「計画・実施・評価」がなされ、次年度にいかし改善するようになっている	4.0	
☆組織づくり		評価	意 見 等
5	目標の達成を目指す分掌組織になっている	3.0	○わくわくタイムを筆頭に全職員で協力して円滑に活動を行っている。 ○毎日の振り返りミーティングに加え、週2回クラス横断的な「保育を語る時間」を設け、学年・学級の枠を越えて保育を共有している。 ○新園舎への移転や行事を、全職員で役割を分担しながら円滑に進めることができた。
6	学年（年中・年長）・学級相互の連絡が円滑で、園全体として意欲や力を発揮できる組織になっている。	4.0	
7	職員会議で話われたことが教育活動や幼稚園運営にいかされている	4.0	
8	園務分掌の組織を確立し、各分掌が具体的に機能している	4.0	
☆危機管理体制		評価	意 見 等
9	安全点検は計画的に実施し、点検結果に基づいた方策が選択されて改善がなされている	4.0	○毎月の避難訓練・消防訓練・交通安全指導、定期的な安全会議を計画通り実施し、安全計画・BCPの見直しを行った。 ○新園舎移転に伴う設備の変更について、引き続き全職員へ周知し、誰でも操作・対応できる体制を整えていく。 ○幼児にケガが起きた時、危険な行動があった場合など、全職員で共通理解して、保育を進めている。
10	事件・災害・幼児の問題行動・園へのクレームに対し、全教職員が共通理解のもと適切な対応ができている	4.0	
☆環境整備		評価	意 見 等
11	教室や廊下等、幼児の活動の様子や季節に適した掲示を行い、安全面での注意喚起へも配慮した整備をしている。	4.0	○研修や日々のミーティングを通じ、子どもの主体性が発揮される保育室・園庭環境づくりに取り組んだ。 ○保育者主導になりがちな点が依然として課題。子どもと保育者がともにつくる環境構成を引き続き目指す。 ○花や野菜の栽培を継続的に行い、幼児の安全を考慮した環境、遊びにつながる環境を心がけている。
12	栽培活動計画が計画的に推進されている	4.0	
13	学級園・学校園等、敷地内は美しく整備し、安全面でも配慮している	4.0	

☆施設設備・予算関係		評価	意 見 等
14	施設・設備は充実している	3.5	○新園舎へ移転し、保育環境が大きく改善された。工程調整・資金計画・地域や保護者への説明・物品の購入や搬入を計画的に進めた。 ○引っ越しにあたっては、保護者の皆さまにも多大なご尽力をいただいた。 ○沖縄県監査において指摘事項なし（0件）と評価された。
15	備品等の管理はきちんとされている	3.5	
16	園地・園舎の維持管理について全教職員が協力して実施している	4.0	
17	予算の編成・執行等の方法や手続きは、適正に行われている	4.0	
☆園内研修（研修）		評価	意 見 等
18	園内研修は、研修主題に沿って、計画的に実施している	3.5	○毎日のミーティングと週2回の「保育を語る時間」により、肯定的な子ども観の醸成、保育の質の向上、不適切保育の防止につながった。 ○TOWN法の実施により、保育を見る視点の「型」をある程度そろえることができた。個人差の改善や園内の教育体制づくりが今後の課題。 ○キャリアアップ研修に5名が受講したほか、全国・県・市主催の研修にも参加した。浦添市学力向上推進機構への研修報告書を作成した。
19	園内研修の成果は、日常の教育実践の場で具体的にいかされている	3.5	
20	教職員がともに高めあう研究が推進できるように、意見交換や情報交換がなされている	3.8	
21	保育研究会を通して指導力の向上が図れるようにしている	4.0	
22	教職員一人一人が自らの研究と修養に努め、活力ある教育活動を展開している	3.8	
☆情報の発信と連携（開かれた園づくり）		評価	意 見 等
23	幼稚園のホームページや各種の「便り」、『通知文』等で保護者や地域への情報発信を実施している	4.0	○HP・SNS、毎週のドキュメンテーション、毎日の園児の様子のリアルタイム配信により家庭との情報共有を深め、保護者からも好評を得た。一方で情報過多になる場面もあり、発信内容の優先順位の精査が今後の課題。 ○小学校ヘラーニングストーリーを配布し、小学校教職員へのアンケートを実施中。引き続き幼小連携の向上に努める。 ○保護者会・はなのこ祭り（バザー）・地域清掃ボランティア・遠足・1泊保育等、全行事を実施した。保護者アンケートや行政との三者協議会でも好評をいただいた。
24	幼・小・中の連携を図るために、具体的な取り組みが実施されている	3.0	
25	保護者や地域との連携を密にし、幼稚園教育への理解と教育を得られるようにしている	3.5	
26	保育参観日の日程や内容は適切である	4.0	
27	地域を学習の場としたり、地域の人材を活用したりしている	4.0	
Ⅱ 指導内容			
☆教育課程の編成と実施		評価	意 見 等
28	指導計画は適切に作成され、指導にいかされている	3.5	○年間指導計画を見直し、全職員ですり合わせを行った。週案等の指導計画を作成し、反省・評価を行いながら、よりよい保育ができるよう努めている。 ○日誌作業を「わくわくタイム」へ移行し、保育の振り返りを複数人で行い、翌日以降の計画や環境構成を共有している。 ○ラーニングストーリーを開始し、子どもの育ちを視覚化して保護者へ配布した。 ○保育者主導になりがちな点は伸びしろと捉え、環境を通しての教育の実践を職員一同で深めていく。
29	教育時間は適切である	3.8	
30	週行事の配置は適切である	3.5	
31	行事の精選は適切に行われ、計画的に実施されている	3.0	
32	全職員が週案を作成し、計画的に保育を実施している	3.8	

33	絵本などに親しむ為の活動が計画的に実施されている	3.2	
34	道徳性の芽生えを培うための活動の工夫がなされている	3.2	
35	体験的な遊びを重視し、教材の工夫や環境の工夫がなされている	3.8	
36	指導と評価の一体化が図れるように、計画的な評価を実施している	3.0	
☆幼児理解（指導・援助・教育相談等）		評価	意 見 等
37	一人一人の課題を把握し、個に応じた指導を実施している	3.5	○毎日のミーティングや「保育を語る時間」で園児の実態や課題を共通理解し、対応することができている。 ○ラーニングストーリーや毎週のドキュメンテーションを通して、子どもの育ちを家庭と共有している。 ○生活習慣の定着のための取り組みを徹底し、引き続き家庭との連携を図っていきたい。
38	時間を守る、忘れ物をしない等の園生活に関わるきまりについて、意識が高まるように指導している	3.8	
39	進んであいさつができるように、指導の充実や取組の工夫を行っている	3.3	
40	基本的生活習慣の定着を図るための指導をしている	3.5	
41	個人面談や日常的な相談活動を充実させている	3.5	
42	全教職員の共通理解と協働により、いじめ・不登校問題行動等の予防や対応は速やかに、適切に行っている	4.0	
☆特別支援教育		評価	意 見 等
43	特別支援教育コーディネーターを置き、特別支援教育の充実に努めている	4.0	○支援が必要な子について、全職員で共通理解を図り、支援にあたっている。 ○それぞれの気になる幼児の記録を取り、巡回指導に活かしている。
44	幼児の障害の状態や特性などに応じた、個別の支援計画や教育課程を編成して、教育活動を実施している	3.8	
☆預かり保育・子育て支援		評価	意 見 等
45	教師と預かり保育担当との連携を取りながら、預かり保育の充実を図っている	4.0	○預かり保育の職員とも日頃から話し合い、保育を進めている。 ○預かり保育担当の先生方と、密な連携が取れている。 ○預かり保育担当職員と、日々園児の様子等を話し合い、連携を図っている。
46	園庭開放や未就園児交流が行われている	3.0	

Ⅲ 健康教育の充実		
☆健康・安全・食事指導の充実		評価
		意 見 等
47	諸検査や健康診断等を通して健康な体を知り、健康の自己管理能力が育つように、発達に応じた保健指導を実施している	3.5
48	手洗い、うがいなどの健康管理と、好ましい集団生活が送れるよう指導している	3.5
49	園便りや保健便りなどの家庭への配布物をとおして、保健指導を充実させるようにしている	3.0
50	おやつや昼食等を通して、食に関する指導を行っている	4.0
51	交通安全指導、不審者対策、水難防止等のために、幼児の危機回避能力を高めるように指導している	3.5

○内科・歯科検診（年2回）、ギョウ虫・尿検査（年2回）、水質検査（週1回）を計画通り実施した。

○味噌づくり・都道府県メニュー・サンマパーティー・もちつき・ムーチャーづくり等、クッキング活動を充実させた。

○園独自の給食メニューの実施に向け、栄養価計算の見直しとメニュー考案を行った。

○避難訓練や安全指導を定期的に行っている。